

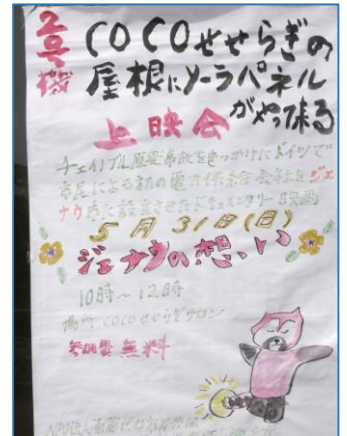


## ■上映会「シェーナウの想い」開催報告■ &市民発電所2号機の場所ってこんなところ

5月31日、上映会「シェーナウの想い」&公開セミナー「市民で作る自然エネルギー」を開催しました。



午前の部でお借りした民間施設の『COCO せせらぎ』は江川せせらぎ遊歩道が目の前にあり、この日は朝から真夏のような陽ざしでしたが、1階のフロアーには涼しい川風が吹き抜けて気持ちの良い会場でした。ここでは定期的に公園体操を開いていて大変人気があるそうです。



オーナー秋元サチ子さんの  
手描き看板が可愛い！

当会では、この自立共生型老人シェアホーム『COCO せせらぎ』の屋根をお貸しいたいて発電所2号機を設置する予定ですので、未長〜いお付き合いをさせていただくこととなります。今回の上映会では、オーナーの秋元サチ子様からも原発を無くしたい想いを強く語っていただきました。参加した方からもたくさんのご意見・ご質問を頂戴いたしましたので、今後の活動に活かしていきたいと思います。



昨年オープンしたばかりの高津区明津のグループリビング『COCO せせらぎ』では、入居者を募集しています。ホームページにはサポート体制がしっかりと書かれていて、とても親切丁寧に対応されていることがうかがえます。どうぞご覧ください。

<http://coco-hokubukawasaki.jp/>





同日、午後の部でお借りしたのは桜庭邸のオープンスペースです。たいへん居心地の良い空間で皆様と自然エネルギー、脱原発市民発電所について共有でき、素敵な時間を過ごさせていただきました。

2会場とも快く貸していただいたことに感謝申し上げますとともに、参加して下さった皆様、会員になって下さった皆様、ありがとうございました。

理事 加藤 伸子

## ■「平和をきずく市民のつどい」参加報告■

6月7日（日）、川崎市平和館でおこなわれた「平和をきずく市民のつどい」に当会も出展させていただきました。今年で33回目となる平和のお祭り。毎年開催されている継続の力に敬服いたします。

開場10時には、平和公園の模擬店とバザー会場はすでに人が溢れていました。平和館の屋内広場では、学童の子どもたちによるパフォーマンスに会場から拍手が沸きあがり、その後も様々な団体の上演が続きました。来場者は1800人だったそうで大盛況でした。



パネル3枚を使って市民発電所の活動を展示しました



壇上で活動をアピールさせていただきました

当会は、平和館1階の回廊式ロビーでパネルを展示し、6月21日の総会記念講演のチラシを配布しつつ会員を募り、その場で会員になってくださる方もいてありがたかったです。また、参加したメンバーの其々の知り合いにお声をかけて協力金のお願いをしました。

いよいよ大詰め、憲法学者の小林節さんによる記念講演『危機に立つ日本と憲法』が始まると、立ち見も出て屋内広場に400人ほどが集結しました。まさに旬な話題の安全保障関連法案について「愚策だ」と言い切る小林節さんの語り口に会場は熱気に包まれました。

このように“平和”をテーマに活動団体が一堂に会する場を作ることがとても意味深いと感じました。

政策検討チーム 加藤 伸子



## ■次世代の子供達のため原発ゼロを実現する太陽光発電所を作りたい■

～発電所2号機「クラウドファンディング」～

緊急募集



5/31「COCO せせらぎ」の玄関にて

当発電所では、2号機ソーラー発電所の設置場所を高津区明津のグループリビング「COCO せせらぎ」に確定しました。今年9月の完成を目指しています。

その設置資金を集めるため、また原発ゼロの活動を広げていくために、現在、クラウドファンディング（インターネット上での資金募集）を行っています。

募集期間は **6月26日（金）まで**

目標額は100万円です。締切日までに目標額が達成できなければ、この募集そのものが無効となってしまいます。

残りわずかな期間となってしまいましたが、ぜひ、次世代の子どもたちの未来を守るため、川崎市における市民による市民発電所設置を応援してください。

会員の方々には、別途、借り入れのご協力をお願いしておりますが、会員外の方々には出資法の関係から呼びかけができないため、こういった方法でご協力の場を設けました。

下記アドレスにてご覧いただき、実際にご支援いただくか、お知り合いにご支援を呼びかけていただければ幸いです。どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

【運営会社 Ready for URL : <https://readyfor.jp/projects/4016>】

事業検討・ファイナンスチーム 三枝 信子

## ■川崎市議会議員 60 人全員に手紙を出しました■

4月の川崎市議選で当選した60人の議員一人一人に向けて、当会の活動主旨と、議会・行政と協力して再生可能エネルギーの普及をすすめていきたい旨のご挨拶文を5/22に出しました。選挙前に「公開アンケート」を候補者宛に送ったのですが、回答があった当選議員は13人だけだったので、回答をいただけなかった47人には改めて質問状も同封しました。今後、議員の方々と意見交換の機会をもちたいと考えています。

政策検討チーム 岩坂 康佑



## ■自己紹介コーナー■ No.10

今月号は、多数の市民活動団体と当会の連携を支えてくれている高橋喜宣<sup>きよし</sup>さんの自己紹介です。

### 若者の活動に魅せられ 一原発ゼロに向けて具体的な行動を！



今も変わらぬ南相馬市の現状を訴える著者

20~30代の若者中心の活動に魅せられ、当NPOの理事を引受けました。これまで「かわさき市民活動センター」所属の市民記者として60以上の団体取材し、「神奈川新聞」に記事を書いてきましたが、市民団体の担い手が高齢となり、若者が中心となる団体はあまりありませんでした。だから注目しています。

2011年以来、東京を中心にeシフト（脱原発と新しいエネルギー政策を実現する会）やeシフトから生まれた緑茶会（脱原発政治連盟）で脱原発の活動をしてきました。「第2の故郷・

川崎でも何かをしたい」と思っていたので、ぴったりの団体でした。

当会では若者が主役になってもらいたいです。今年1月発電所を開始し、そこから少なくとも20年間活動することになります。年配の私は、それまで元気で活動することは難しく、主役にはなりえません。多少なりとも会の支えになることができれば良いと思っています。

「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」の名前を全国に広めたいですね。これまで市内では「公害・環境、健康、まちづくりフェスタ」と「平和をきずく市民のつどい」の実行委員会に当会を代表して参加、また、当会所属の「市民電力連絡会」では運営団体の一員として活動してきました。

市民活動では、清く、貧しく、一生懸命活動することに満足することなく、社会の問題を具体的に解決してゆくことが大事と、先進事例となるような団体取材を通じて考えるようになりました。日本でも600基を超える市民の発電所が稼働しています。ドイツでは、導入された再エネの47%が個人や共同組合、再エネ100%の自治体も続々登場しています。日本でもそうありたいです。

来年4月から携帯電話会社が乗換えるように、一般家庭でも電力会社が選べます。新しく生まれる市場は全国で7.5兆円。原発や石炭火力の電力を買わないことです。こうしたチャンスを生かし、再エネを促進して原発ゼロに向かうような具体的な行動を続けて行きましょう。 理事 高橋 喜宣

#### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

#### 【編集後記】

当NPO法人は6/21に初めての総会を迎えます。理事+運営メンバーは、総会議案書を仕上げため議論し、NPOの会計を何度も修正し、記念講演の宣伝をしたり、総会案内を送付したりと大忙し。さらに2号機の資金集めに奔走、今月末の視察旅行の企画など盛りだくさん。ああ〜、みんなでやるから楽しい！（加藤伸子）

